



■ シラバス登録 プレビュー



選択したシラバスのプレビュー画面です

平成30 年度 [操作ボタン](#)

講義科目名称： **日本語学概論B**

授業コード： **24009**

英文科目名称： ---

開講期間	授業形態	単位数	科目必選区分
後期	講義	2単位	
曜日時限			
後期: 火曜4限			
配当学科・学年			
教育1			
担当教員			
大槻 美智子			

授業テーマ	文字のはたらきおよび漢字に関する種々の知識を獲得し、日本語への理解を深める。
講義概要	国語科を担当する教師として知っておいて欲しい〈日本語の特徴〉を学びます。 ①文字のはたらきと種類 ②漢字の成立と特徴、③日本語の国字政策と表記について、その基礎を学びます。
到達目標	1 文字のはたらきと種類について説明できる。 2 漢字の成立や特質について理解し説明できる。 3 部首・音訓の由来・漢和辞典の読み方についての知識を獲得する。 4 漢字制限の歴史についての知識を獲得し説明できる。 5 国字政策を通して日本語の表記法についての知識を獲得し活用できる。
評価方法・フィードバックの方法	〈評価方法〉 各トピック終了時に課す課題や小テスト（40%） 定期試験の結果（60%）で評価する。 〈フィードバックの方法〉 小テストは採点して返却。 レポート課題はルーブリックを付けて返却する。
評価基準	〈最低限の到達度〉（可） 知識を6割方獲得し課題をすべて提出している。 〈最も望ましい到達度〉（秀） 知識を9割以上獲得して応用できるとともに、課題に問題意識を持って取り組み自分の言葉で表現できている。
テキスト	特に指定しない。
参考書	阿辻哲次 2003『漢字のはなし』岩波ジュニア新書 阿辻哲次 2004『部首のはなし 1・2』中公新書 円満字二郎 2008『漢和辞典に訊け！』ちくま新書 江守賢治2012『漢字鑑順ハンドブック』三省堂 その他、適宜紹介する。
履修上の注意	板書しなくても、説明の言葉はノートをとること。 内容が盛り沢山なので、きちんと復習して消化するように努力すること。 隣や前後の人と話し合うことも多いので、協力すること。 毎回提出するコメントカードには、質問・授業の要約・感想などを丁寧に書くこと。
準備学習＜予習・復習の時間・内容＞	2単位の修得には、2時間×15回の授業のほかに合計60時間（4時間×15回）の事前事後学習が必要です。それぞれ30時間の事前学習（予習）と事後学習（復習）を目安に学習に取り組んで下さい。 予習 ・提出された事前課題に取り組む。 ・レポートの課題について調査する。 復習 ・講義後に配布プリントやノートを見てよく復習する。 ・レポートに対するルーブリック評価を確認し自分のレポートの長短を確認する。
オフィスアワー等	質問は、授業終了時およびコメントカードへの記入ならびに火曜2限に受付ける。
備考・メッセージ	課題等は遅れても提出すること。

授業計画						
回数	授業形態	担当教員	授業内容	到達目標		
1	講義	大槻	オリエンテーション 文字とは何か。 文字の種類はどれくらいか？	シラバスを熟読して、講義の目標・進め方・受講者評価について理解できる。 音声と文字の違いについて理解できる。 文字の種類が言語より少ない理由を説明できる。		
2	講義	大槻	文字と道具	人類はどんなものにどんな道具を使って文字を書いていたのかを知る。 印刷は文字に何をもたらしたかを知る。		
3	講義	大槻	文字生成の原理「六書」①	「六書」とは何かを調べて発表できる。 「六書」とはどのような原理であるのかを理解する。		

4	講義	大槻	文字生成の原理「六書」②	「六書」を文字生成の原理として捉え、他文明の文字生成のあり方に適用できる。		
5	講義	大槻	文字生成の原理③ 象形文字からアルファベットが生まれる?!	形声文字のメリットを知り応用できる。 表音文字・表意文字の定義を知る。 表意文字からどのようにして表音文字が生まれるのかを理解し説明できる。		
6	講義	大槻	日本の漢字（１）	日本の漢字音の種類がわかり、その特徴について説明できる。		
7	講義	大槻	日本の漢字（２）	湯桶読み・重箱読み・熟字訓・同音漢字・同訓漢字・多訓漢字・多音漢字などの術語とその意味がわかる。 国字・国訓について説明できる。		
8	講義	大槻	漢和辞典を読む（１）	漢和辞典から読み取れる情報を知り、活用できる。		
9	講義	大槻	漢和辞典を読む（２）部首	部首の定義を理解して説明できる。 部首が時代や対象により変化することを知る。		
10	講義	大槻	日本語の表記（１）	明治以来の漢字廃止運動の歴史について理解し説明できる。 資料を読んで、漢字廃止運動の掘って立つ考え方を理解できる。 漢字廃止のメリット・デメリットについて考える。		
11	講義	大槻	日本語の表記（２）	戦後の国語政策と当用漢字表の成立について知る。 常用漢字表の問題点について知る。		
12	講義	大槻	日本語の表記（３）	字形と字体の違いについて理解する。 常用漢字表の「手書き文字」の特徴についての内容を理解し、応用できる。		
13	講義	大槻	日本語と文化（１）	文字遊びの歴史について理解し応用できる。		
14	講義	大槻	日本語と文化（２）	十干十二支・五行思想と日本語との関係について理解できる。		
15	講義	大槻	全体のまとめ	これまでに学習してきたことに関する課題について、まとめて述べることができる。		

授業方法					
	学習方法	場所	教員数(補助者数)	教科書以外の教材など	時間(分)
	講義	教室	1	資料を配布する	90分×15

閉じる